HP 記載用

平成 21 年 6 月 1 日から 12 月 31 日に当院脳卒中内科に入院した患者さんへ。
下記に示した研究を実施いたしますので、対象の患者さんまたはご家族はお読みください。

課題名：急性期脳卒中患者の早期自宅退院を可能にする因子の検討

〇研究の背景・目的

当院では平成 20 年 6 月より、脳卒中内科医、リハビリテーション科医、理学療法士、看護師、ソーシャルワーカーの多職種でカンファレンスを実施しており、脳卒中患者さんに関わっています(仮想 stroke　unit(以下 SU)といい、平成 20 年より立ち上げました)。

他職種で構成される SU は在院日数の減少、死亡率の低下などの効果があげられています。しかし、SU では、自宅退院や転院などの転帰先についての検討は少ない状態です。

今回は、脳卒中患者さんが早期に自宅復帰を可能にする因子について、どのような因果関係があるかを検討します。これは、臨床において早期の転帰予測を立てるために活用していき、在院日数短縮につなげていく予定です。

〇対象となる患者さん

平成 21 年 6 月から 12 月に仮想 stroke　unit に入院した脳卒中内科患者さんのうち、お亡くなりになられた方、入院中に再度脳卒中になられた方、当院の回復期病棟に入院した方、入院前の生活がお一人でできていなかった方を除いた方を対象です。

〇実施場所

川崎医科大学附属病院　リハビリテーションセンター

〇研究期間

倫理委員会承認後から平成 23 年 12 月 30 日。

〇個人情報の保護について

データは本研究以外の目的で使用することはありません。学会発表など公開する際には、個人が特定されることはありません。使用したデータは鍵付き保管庫やパスワードが必要なパソコンで保管します。

＊データ取り扱いに対する拒否は可能です。対象となる患者さんで、データ使用を拒否される方は、お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

〇お問合わせ

メールアドレス　yuuji@med.kawasaki-m.ac.jp
主任研究者　リハビリテーションセンター　理学療法部門　理学療法士　岡田　有司
Tel. 086-462-1111(内線 22820)